

令和6年6月11日～13日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
件名及び 要 旨	○ 学校体育館の空調設備設置について 梅雨が始まり猛暑が到来する。児童生徒が快適に過ごせる小中学校体育館にしなければならない。同時に災害避難所指定のうえからも体育館の空調設備が待たれている。そこで以下の諸点を問う。 ① 市内小中学校体育館の空調設備の現況はどうなっているか。 ② 指定避難所となっている学校体育館はどこで何カ所か。 ③ 石川県は能登半島地震での災害関連死で避難所環境がどのように影響したとしているか。 ④ 国からの事務連絡「防災・減災、国土強靱化に関する取組の促進について」（令和４年６月３日付）において学校体育館の空調設備の導入をなんと言っているか。また学校体育館空調設備導入に関して財政措置をどのように示しているか。 ⑤ 文科省は学校体育館の断熱性確保工事の設計事例として５つの例を示している。空調設備工事費、断熱性工事費は概ねいくらかかるとしているか。鳥羽市に関して試算しているか。 ⑥ 学校体育館空調設備導入について市長の所見はどうか。 <市長、教育長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
件名及び 要 旨	○ 市財政の基金について 長引く物価高で苦しむ市民の家計の応援策と地域経済活性化は市政の重要な柱である。市の保持する財政力の最大限活用が切望されている。そこで以下の諸点について問う。 ① 市の各種基金は 24 年度当初予算時点でどれだけか。 ② 総務省は全国地方自治体の 22 年度決算を発表した。鳥羽市の基金残高は 21 年度対比で何%になったか。この数字は県内 29 市町で何番目の高さか。 ③ 市民の家計応援と地域経済振興のために「積極予算主義」での財政出動が必要だと考えるが市長の所見はどうか。 <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
件名及び 要 旨	○ 菅島採石について 菅島採石は今年 6 月 20 日で県の採取認可期間が終了する。そこで以下の諸点について問う。 ① 事業者は県に対して採石続行を申請しているのか。市は同意するのか。 ② 採石法は第一章総則について第二章で採石権を謳っている。同章は許可の基準、存続期間、土地の返還、補償金等々 28 条からなる原則を定めている。2000 年（平成 12 年）12 月議会での戸上幸子議員の質問に対し当時の市長は「採石権は設定していない」と答弁した。その理由は何か。またこの姿勢が現在の混乱のもとになっていると考えるが市長の所見はどうか。 <市長、副市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	4 番	氏 名	瀬 崎 伸 一
件名及び 要 旨	○ 長岡地区における交流拠点の整備について 鳥羽市は令和 6 年度より都市計画区域内の内、鳥羽駅周辺エリアの再生事業に着手した。市内の全区域が都市計画区域に含まれる訳ではない且つ、各種インフラが集積する都市部地域とそれ以外の郡部地域に分かれる形の地理的条件を有する鳥羽市である。その鳥羽市の特徴は、それぞれ点在する地区毎が、独自の個性を発揮する事で生み出される多様性によって担保されている事は明らかであり、一極集中型の投資によって問題解決とはなり得ない。また事業原資の観点からも、都市計画事業基金の対象となる都市計画区域内だけでも広大となる中、その対象外となる都市計画区域外となる郡部地域への投資は、優先順位が低くならざるを得ず、格差ともとれる状況を招かないかと懸念される。そこで今回は、都市計画区域外で最大の居住者数を有する長岡地区をモデルケースに、地区が抱える問題解決に向けた取り組みの提案や地区毎の未来を思い、描くワクワクする構想を持つことの重要性を訴えたいと考え、以下の諸点を聞く。 ① 子ども、高齢者、働く責任世代と見た場合の各世代を取り巻く現況等について ② 旧長岡中学校の活用について ③ 長岡地区の今後に向けた取り組みについて <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	南 川 則 之
件名及び 要 旨	○ 林道整備について 林道は森林へのアプローチを容易にすると共に、森林の適切な管理や間伐などの森林整備・保全を行うための基盤として重要な役割を果たしている道路である。 そのため、継続した林道整備と維持管理が必要であると考えます。 そこで以下の点について問う。 ① 市が所管する林道について ② 林道の管理状況について ③ 七石林道に結節する市道の管理について ④ 林道管理予算について ⑤ 今後の林道整備について <市長、副市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	南 川 則 之
件名及び 要 旨	○ 市営定期船出港後の緊急時における対応について 令和6年3月18日答志航路において、午前6時55分答志発の定期船（かがやき）が和具経由で佐田浜桟橋に着桟しようとしたが強風により操船できず、中之郷桟橋への臨時寄港となる事案が発生した。 市は、緊急時においても運航業務の安全で適正かつ円滑な遂行を図り、離島市民などの旅客輸送の安全最優先意識の徹底が必要であると考えます。 そこで以下の点について問う。 ① 3月18日（月曜日）の気象状況及び各航路の運航状況について ② 令和5年度の欠航状況と出港後の折り返し、臨時寄港の状況について ③ 緊急時の対応についての法令及び規定などについて ④ 臨時寄港下船後の旅客の対応について ⑤ 定期船課職員の業務改善及び手当等の見直しについて ⑥ 今後の緊急時における旅客輸送の安全最優先意識の徹底について <市長、副市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	濱 口 正 久
件名及び 要 旨	○ 鳥羽市における女性の活躍について 人口減少、少子高齢化は地域の担い手を不足させ、地域の経済力だけでなく地域力そのものを低下させてしまう。人口戦略会議において約 10 年ぶりに改訂された「消滅可能性自治体」に鳥羽市も含まれている。その中で「女性の定着率の低下」が地方における「男女若年人口バランスの崩壊」を招き人口減少の主な原因のひとつとして挙げられている。元々観光業をはじめ、海女が活躍する水産業など鳥羽市における「女性の活躍の場」はあり鳥羽市の産業を支えてきた。鳥羽市を支える女性の活躍の不足は鳥羽市の地域力の低下にそのまま繋がる重要な課題であると考えます。そこで鳥羽市において女性が活躍し続けるための本市の施策や方針についてきく。 ① 男女共同参画について ② 鳥羽市における女性の就業状況について ③ 活躍する女性が安心して子どもを育てられる施策について ④ 女性が職場で活躍し続けられる環境について ⑤ 市長の考える「女性の活躍し続けられるまち」とは <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	坂 倉 広 子
件名及び 要 旨	○ 「こどもまんなか社会」の実現に向けた本市の取り組みについて 国は、こども基本法を制定するとともに、こども家庭庁を設立し、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども大綱に沿ってこども施策を推進しています。これを受けて本市はどのような取り組みをしていくのか、以下の点についてききます。 ① 妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施について ② 市こども計画の策定について ③ こども・若者の意見聴取と施策への反映について ④ こどもの居場所づくりについて ⑤ こども誰でも通園制度について <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	坂 倉 広 子
件名及び 要 旨	○ 「軟骨伝導イヤホン」の導入について 今日、社会の高齢化に比例して、難聴の方も年々増加している。難聴は認知症の危険因子の一つと言われており、難聴になると、人や社会とのコミュニケーションを避けがちになり、その後社会的に孤立する可能性も懸念される。高齢者の積極的な社会参画を実現するために、耳の聞こえづらい高齢者の方々とのやりとりを円滑にするため、耳の軟骨を振動させ音を伝える「軟骨伝導イヤホン」の取り組みについて以下の点についてききます。 ① 高齢者の窓口対応について ② 「軟骨伝導聴覚イヤホン」の導入について <市長及び担当課長>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	尾 崎 幹
件名及び 要 旨	○ 持続可能なまちづくりについて 災害復興においては、その事前準備が重要となる。 安全・安心に市民が暮らしていける、鳥羽市における持続可能なまちづくりについて、以下の点についてきく。 ① 災害の発生時における陸路について ② 大雨を含む、災害時における緊急車輛の補助幹線道路の通行について ③ 防火地域の指定について ④ 危険な建物等への対応について ⑤ 能登半島地震を受けてどう政策に反映していくのか <市長、副市長及び担当課長>			